

春に 谷川 俊太郎

一 新出漢字と読みがなを五回ずつていねいに書こう。(書き順は教科書 278 ページを見て覚える)

|            |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|
| うずしお<br>渦潮 |  |  |  |  |  |
|------------|--|--|--|--|--|

二 教科書 16 ページ〜17 ページの詩を声に出して読んでみよう。(三回読んで、○をつけよう)

|     |  |     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|-----|--|
| 一回目 |  | 二回目 |  | 三回目 |  |
|-----|--|-----|--|-----|--|

三 対比(対照的な言葉)や、比喩表現(たとえた表現)を抜き出そう。

・ 対比(対照的な言葉)

例 よろこび・かなしみ **いらだち・やすらぎ** **あじがれ・いかり**

**歩きつづきたい・じつじつつづきたい** **大声でだれかを呼びたい・ひとりで黙ってつづきたい**

・ 比喩表現(たとえた表現)

**心のダム** **あの空のあの青に手をひたしたい**

四 一行目・六行目・十四行目・二十四行目と、四回繰り返し返される「この気持ちはなんだろう」の中から、最も共感できるのは、何行目か考え、その理由も書こう。

・ 最も共感できるのは、例

**十四**

行目

・ その理由

例 **よろこびやかなしみ、いらだちややすらぎなど、いろいろな気持ちが入りまじってあふれ出して、よく分からない気持ちになることがあるから。**

**その他の「この気持ちはなんだろう」「との違いを意識して書けるように**

五 作者の思いが伝わるように読むための工夫を、ア〜エの中から二つ以上選んで書こう。

例

ア **いらだち・いかり** ( ) を強く読み、**かなしみ・やすらぎ** ( ) を弱く読む。

イ ( ) を速く読み、( ) をゆっくり読む。

ウ **(枝の先のぶくらんだ** ( ) の前に、間をとって読む。

エ その他の工夫↓ ( ) を、( ) ( ) を読む。

六 “五”で考えた工夫をして読むことができたか評価しよう。

〈評価する方法の例〉「録音して聞く」「自分の声を聴きながら読む」「家族に聞いてもらう」等

自分の評価

〈評価〉…A よくできた B だいたいできた C できなかった



握手 井上 ひさし

○ 新出音訓と読みがなを五回ずつていねいに書こう。(書き順は教科書 293 ページを見て覚える)

|            |            |            |  |  |  |  |  |  |
|------------|------------|------------|--|--|--|--|--|--|
| 遺言<br>ゆいごん | 分割<br>ぶんかつ | 代物<br>しろもの |  |  |  |  |  |  |
|            |            |            |  |  |  |  |  |  |
|            |            |            |  |  |  |  |  |  |
|            |            |            |  |  |  |  |  |  |
|            |            |            |  |  |  |  |  |  |
|            |            |            |  |  |  |  |  |  |

二 辞書やインターネットを使って意味を調べたり、反対の意味の言葉や短文を書いたりしよう。

|     |            |                             |
|-----|------------|-----------------------------|
| ページ | 調べる言葉      | 調べた意味や、考えた短文                |
| 18  | 達者(たっしや)   | 【意味】                        |
| 18  | 年季(ねんき)が入る | 【意味】                        |
| 19  | 気前(きまえ)がいい | 【意味】                        |
| 20  | 精(せい)を出す   | 【意味】<br>【短文】例 畑仕事に精を出す      |
| 20  | 奇妙(きみょう)   | 【意味】                        |
| 22  | ……(の)わりに   | 【意味】<br>【短文】例 年齢のわりに落ち着いてくる |
| 23  | せわしい       | 【意味】                        |
| 23  | こたえる       | 【意味】                        |
| 24  | 地道         | 【意味】                        |
| 24  | いとまごい      | 【意味】                        |
| 25  | 平凡         | 【意味】<br>【反対の意味の言葉】 非凡       |
| 26  | むやみに       | 【意味】<br>【短文】例 むやみに外出してはいけない |

握手 井上 ひさし

一 「わたし」や「ルロイ修道士」の置かれた状況に着目しながら本文を黙読し、心に残った表現や、登場人物の発言を抜き出そう。また、なぜその部分が心に残ったのか、理由も書こう。

例 彼の握力は万力よりも強へ 【理由】ルロイ修道士の力強さを感じているから

わっきの握手もなんだか変だった 【理由】重い病気や二度と会えなういじょうを感  
じているように思っているから

二 三回の「握手」をした時の状況と「わたし」の感じたことをまとめた次の表のあいているところをうめて完成させよう。

|     |       |  |   |   |
|-----|-------|--|---|---|
|     | ページ・行 | 握手をした時の状況  | ルロイ修道士の思い   | 「わたし」の感じたこと   |
| 一回目 | 18・11 | ○ ルロイ修道士は大きな手を差し出してきた。<br>○ 思わず顔をしかめた。                         | ○ 例 今度故郷に帰るのでさよならを言いきました。今までお世話になりました。                                      | ○ 彼の握力は万力よりも強く、しかも腕を勢いよく上下させるから、腕がしびれてしまう。握手したくない。                  |
| 二回目 | 19・16 | ○ ルロイ修道士は机越しに握手で迎えて……<br>○ 彼の握力は万力よりも強く<br>○ 勢いよく上下させるものだから、…… | ○ ようこそ光が丘天使園へ。これからは私が守りますから、何の心配もいりませんよ。                                    | ○ 例 痛い、強い、しびれる。   |
| 三回目 | 26・20 | ○ それからルロイ修道士の手をとって、しっかりと握った。<br>○ それでも足りずに、腕を上下に激しく振った。        | ○ 例 私はこの先長くはないかも知れませんが、あなたの幸運を祈ります。しっかりとやりなさい。「痛いですよ」と言ったルロイ修道士の気持ちを想像するとよい | ○ 例 昔みたいに強く握ってほしい。いつまでも元気でいてほしい。「それでも足りずに、上下に激しく振った」気持ちをいらいらしているとよい |

握手 井上 ひさこ

三 ルロイ修道士の生き方について、あなたはどのように感じましたか。自分の生き方と比べて考えたことを書こう。

例 児童養護施設で親同様に子どもたちを育てて真剣に怒ったり、育った子どもたちを思ったりして生きるのは、自分にはできないかもしれないけれどいいことだと思った。私も自分ではあるけど周りの人の役に立っていることを探した方がいいと思う。  
でもきつと最期は故郷に帰りたいと思ったけどさうさあじ、そこは悔やむ気持ちが残った。  
ルロイ修道士の生き方に対して、自分がどのくらい考えたのかというところを書けるようにルロイ修道士の生き方に賛同した視点の考え、または「しかし」「でも」など批判的な視点の考えのいずれでもよい。

漢字を確認しよう。

○ 新出漢字と読みがなを五回ずつ書いてねいに書こう。(書き順は教科書 278 ページを見て覚える)

|              |  |  |  |  |  |
|--------------|--|--|--|--|--|
| 慎重<br>しんちょう  |  |  |  |  |  |
| 懇願<br>こんがん   |  |  |  |  |  |
| 徹底<br>てっぺい   |  |  |  |  |  |
| 撤回<br>てっかい   |  |  |  |  |  |
| 懐妊<br>かいにん   |  |  |  |  |  |
| 妊娠<br>にんしん   |  |  |  |  |  |
| 満悦<br>まんえつ   |  |  |  |  |  |
| 懦弱<br>だじゃく   |  |  |  |  |  |
| 憩いの場<br>いひのば |  |  |  |  |  |

○ 新出漢字と読みがなを五回ずついいねいに書こう。(書き順は教科書 278 ページを見て覚える)

|                          |                           |  |  |  |  |  |  |
|--------------------------|---------------------------|--|--|--|--|--|--|
| 挙措<br><small>ぎよそ</small> | 拘禁<br><small>こうきん</small> |  |  |  |  |  |  |
|                          |                           |  |  |  |  |  |  |
|                          |                           |  |  |  |  |  |  |
|                          |                           |  |  |  |  |  |  |
|                          |                           |  |  |  |  |  |  |

漢字を確認しよう

新しく習った漢字

1 次の——線部の言葉を読もう。【漢字の読み】

- ア ギターを爪弾く。 「つまびく」
- イ 慎重に爪を切る。 「つめ」
- ア 山の麓で鶏を飼う。 「にわとり」
- イ 鶏卵を出荷する。 「けいらん」
- ア 彼は穏やかな人柄だ。 「おだやか」
- イ 穏便に話し合う。 「おんびん」

2 次の□に合う漢字をへくから選ぼう。

【同じ音読みの漢字】

- ①カンへ監・鑑  
ア 鑑 賞  
イ 監 査
- ②コンへ墾・懇  
ア 開 墾  
イ 懇 意
- ③テツへ徹・撤  
ア 貫 徹  
イ 撤 去
- ④ニンへ任・妊  
ア 妊 娠  
イ 任 務

3 次の——線部はへくが部首の漢字である。それぞれ

れの熟語を読もう。

①へ心

- 忌避 「きひ」 悦楽 「えつらく」
- 怠惰 「たいだ」 休憩 「きゅうけい」

②へ手

- 捜査 「そうさ」 拘束 「こうそく」
- 措置 「そち」 「」

新しく習う音訓

1 次の文に合う言葉をへくから選ぼう。

【同じ訓読みの漢字】

- ①朝日にへ生える 映える 花の姿。
- ②夜が明けへ初める 染める。
- ③作家が自分のへ生い 負いへ立ちを語る。
- ④大勢の人を見て、気へ遅れ 後れへする。

